

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【公開番号】特開2005-57692(P2005-57692A)

【公開日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2003-289290(P2003-289290)

【国際特許分類】

H 04 N 5/765 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

H 04 N 5/445 (2006.01)

H 04 N 5/76 (2006.01)

H 04 N 5/781 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 L

G 11 B 20/10 3 1 1

H 04 N 5/445 Z

H 04 N 5/76 Z

H 04 N 5/781 5 1 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月4日(2006.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置であって、

前記放送番組を受信する受信手段と、

前記受信手段により受信された放送番組に係る情報信号を記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体から前記情報信号を再生する再生手段と、

前記繰り返し予約録画プログラムに従って過去に記録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号について、それぞれ前記再生手段により既に再生されたか否かを判別する判別手段と、

前記繰り返し予約録画プログラムに従って前記記録手段を制御して前記繰り返し予約録画を実行する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記判別手段の判別結果に基づき、前記繰り返し予約録画プログラムに従って過去に記録された複数の情報信号のうち、既に再生済みの情報信号についてはそれぞれ前記記録媒体より消去し、再生されていない情報信号については前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録するよう前記記録手段を制御することを特徴とする記録装置。

【請求項2】

任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置であって、

前記放送番組を受信する受信手段と、

前記受信手段により受信された放送番組に係る情報信号を記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体から前記情報信号を再生する再生手段と、

前記繰り返し予約録画プログラムに従って過去に記録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号が前記再生手段により既に再生されたか否かを判別する判別手段と、

前記過去に記録された情報信号が既に再生されていた場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録し、前記過去に記録された情報信号が再生されていない場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録する第1のモードと、前記判別手段の判別結果にかかわらず前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録する第2のモードとを設定する設定手段と、

前記繰り返し予約録画プログラムと前記設定手段により設定されたモードとに従って前記記録手段を制御して前記繰り返し予約録画を実行する制御手段とを備えることを特徴とする記録装置。

#### 【請求項3】

前記判別手段は、前記過去に記録された情報信号のうち一度も再生されていない信号量が所定値以下である場合に、前記過去記録された情報信号は既に再生されたものとして判別することを特徴とする請求項1又は2に記載の記録装置。

#### 【請求項4】

前記記録媒体内に前記過去に記録された情報信号が記録され、且つ前記過去に記録された情報信号に未だ再生されていない部分が存在する場合、前記過去記録された情報信号に未だ再生されていない部分が存在する旨を通知する通知手段を更に有することを特徴とする請求項1又は2に記載の記録装置。

#### 【請求項5】

前記設定手段は、前記繰り返し予約モードによる記録対象となる放送番組のジャンルに応じて、前記第1のモード又は前記第2のモードを設定することを特徴とする請求項2に記載の記録装置。

#### 【請求項6】

複数の前記ジャンルに対し、前記第1のモード及び第2のモードの何れかを任意に割り当てる手段を有することを特徴とする請求項5に記載の記録装置。

#### 【請求項7】

前記受信手段により受信される放送波によって配信される電子番組表から前記ジャンルを示す情報を取得する手段を有することを特徴とする請求項6に記載の記録装置。

#### 【請求項8】

任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、受信された放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置の制御方法であって、

前記繰り返し予約録画プログラムに従って前記記録媒体に対して過去に記録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号について、それぞれ前記再生手段により既に再生されたか否かを判別し、

前記繰り返し予約録画プログラムに従って前記繰り返し予約録画を実行する際に、前記判別結果に基づき、前記繰り返し予約録画プログラムに従って過去に記録された複数の情報信号のうち、既に再生済みの情報信号についてはそれぞれ前記記録媒体より消去し、再生されていない情報信号については前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録することを特徴とする記録装置の制御方法。

#### 【請求項9】

任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、受信された放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置の制

御方法であつて、

前記繰り返し予約プログラムに従つて過去に記録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号が既に再生されたか否かを判別し、

前記過去に記録された情報信号が既に再生されていた場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録し、前記過去に記録された情報信号が再生されていない場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録する第1のモードと、前記判別結果にかかわらず前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録する第2のモードとを設定し、

前記繰り返し予約録画プログラムと前記設定されたモードとに従つて前記繰り返し予約録画を実行することを特徴とする記録装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置及びその制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、放送番組に係る情報信号を記録媒体に記録する記録手段を備え、任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を前記記録媒体に記録する繰り返し予約モードを有する技術に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の記録装置の第1の態様は、任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置であつて、前記放送番組を受信する受信手段と、前記受信手段により受信された放送番組に係る情報信号を記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体から前記情報信号を再生する再生手段と、前記繰り返し予約録画プログラムに従つて過去に記録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号について、それぞれ前記再生手段により既に再生されたか否かを判別する判別手段と、前記繰り返し予約録画プログラムに従つて前記記録手段を制御して前記繰り返し予約録画を実行する制御手段とを備え、前記制御手段は、前記判別手段の判別結果に基づき、前記繰り返し予約録画プログラムに従つて過去に記録された複数の情報信号のうち、既に再生済みの情報信号についてはそれぞれ前記記録媒体より消去し、再生されていない情報信号については前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録するよう前記記録手段を制御することを特徴とする。

本発明の記録装置の第2の態様は、任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置であつて、前記放送番組を受信する受信手段と、前記受信手段により受信された放送番組に係る情報信号を記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体から前記情報信号を再生する再生手段と、前記繰り返し予約録画プログラムに従つて過去に記

録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号が前記再生手段により既に再生されたか否かを判別する判別手段と、前記過去に記録された情報信号が既に再生されていた場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録し、前記過去に記録された情報信号が再生されていない場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録する第1のモードと、前記判別手段の判別結果にかかわらず前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録する第2のモードとを設定する設定手段と、前記繰り返し予約録画プログラムと前記設定手段により設定されたモードとに従って前記記録手段を制御して前記繰り返し予約録画を実行する制御手段とを備えることを特徴とする。

本発明の記録装置の制御方法の第1の態様は、任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、受信された放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置の制御方法であって、前記繰り返し予約録画プログラムに従って前記記録媒体に対して過去に記録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号について、それぞれ前記再生手段により既に再生されたか否かを判別し、前記繰り返し予約録画プログラムに従って前記繰り返し予約録画を実行する際に、前記判別結果に基づき、前記繰り返し予約録画プログラムに従って過去に記録された複数の情報信号のうち、既に再生済みの情報信号についてはそれぞれ前記記録媒体より消去し、再生されていない情報信号については前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録することを特徴とする。

本発明の記録装置の制御方法の第2の態様は、任意に設定された期間毎に繰り返し放送番組を記録するための繰り返し予約録画プログラムに従い、受信された放送番組を記録する繰り返し予約録画機能を有する記録装置の制御方法であって、前記繰り返し予約プログラムに従って過去に記録された情報信号を検出し、複数の前記検出された情報信号が既に再生されたか否かを判別し、前記過去に記録された情報信号が既に再生されていた場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録し、前記過去に記録された情報信号が再生されていない場合には前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去することなく今回の放送番組に係る情報信号を記録する第1のモードと、前記判別結果にかかわらず前記過去に記録された情報信号を前記記録媒体より消去すると共に今回の放送番組に係る情報信号を記録する第2のモードとを設定し、前記繰り返し予約録画プログラムと前記設定されたモードとに従って前記繰り返し予約録画を実行することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】